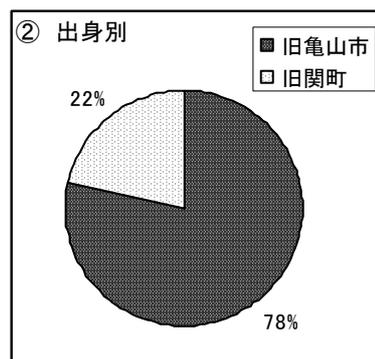
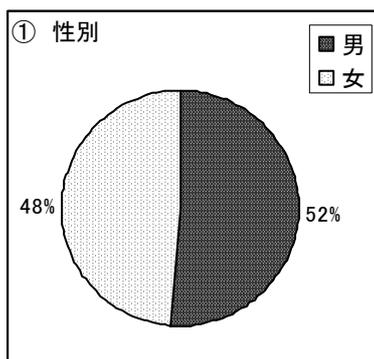


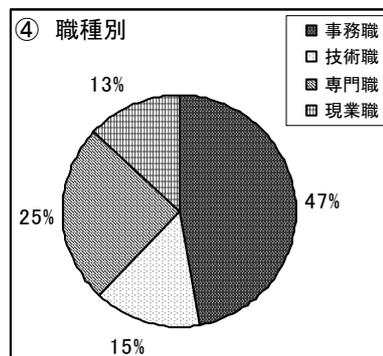
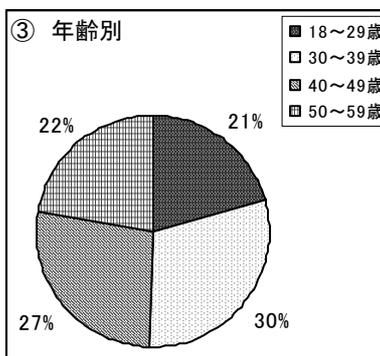
1. あなたのことについてお尋ねします。

① 性別		
	人数	構成比%
男	154	52
女	145	48
合計	299	100



② 出身別		
	人数	構成比%
旧亀山市	233	78
旧関町	64	22
合計	297	100

③ 年齢別		
	人数	構成比%
18～29歳	62	21
30～39歳	90	30
40～49歳	81	27
50～59歳	67	22
合計	300	100



④ 職種別		
	人数	構成比%
事務職	142	47
技術職	44	15
専門職	75	25
現業職	39	13
合計	300	100

2. あなたにとって、合併前の予想と合併後の現実の違いはどうか。

① 男女別	男		女		全体	
	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%
1 予想通り楽だ	1	0.6	0	0.0	1	0.3
2 予想通り苦しい	41	26.6	38	26.2	79	26.4
3 予想に反して楽だ	2	1.2	1	0.6	3	1.0
4 予想に反して苦しい	15	9.7	5	3.4	20	6.6
5 まあこんなものかな	47	30.5	37	25.5	84	28.0
6 まだ、よくわからない	32	20.7	50	34.4	82	27.4
7 何も変わらない	15	9.7	12	8.2	27	9.0
0 回答無し	1	1.0	2	1.7	3	1.3
計	154	100.0	145	100.0	299	100.0

② 出身別	旧亀山市		旧関町		全体	
	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%
1 予想通り楽だ	0	0.0	1	1.5	1	0.3
2 予想通り苦しい	50	21.4	29	45.3	79	26.5
3 予想に反して楽だ	2	0.8	1	1.5	3	1.0
4 予想に反して苦しい	15	6.4	5	7.8	20	6.7
5 まあこんなものかな	73	31.3	11	17.1	84	28.2
6 まだ、よくわからない	66	28.3	15	23.4	81	27.2
7 何も変わらない	26	11.1	1	1.5	27	9.0
0 回答無し	1	0.7	1	1.9	2	1.1
計	233	100.0	64	100.0	297	100.0

合併前と合併後の現実については、今回の調査が合併後、半年後の調査であったことから、男女別では27.4%の職員が「まだよくわからない」と回答しているものの、「予想どおり苦しい」「予想に反して苦しい」と回答した職員が33%を占めている。

また、出身別で見ると、旧亀山市の職員の27.8%が「予想どおり苦しい」「予想に反して苦しい」と回答しているのに対し、旧関町の職員は概ね2倍の53.1%となっている。

3. あなたは、亀山市と関町が合併して事務量や事務の進め方について負担を感じることはありませんか。

① 男女別	男		女		全体	
	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%
1いつも負担を感じている	35	22.7	20	13.7	55	18.3
2時々負担を感じている	47	30.5	36	24.8	83	27.7
3たまに負担を感じている	27	17.5	32	22.0	59	19.7
4負担を感じない	40	25.9	44	30.3	84	28.0
0回答無し	5	3.4	13	9.2	18	6.3
計	154	100.0	145	100.0	299	100.0

仕事に対する負担は、全体で見ると、何らかの形で負担を感じている人は全体の65.7%を占めている。出身別で見ると負担を感じている職員が旧亀山市では60.4%に対し、旧関町の職員は85.8%と占めている割合が高い。

② 出身別	旧亀山市		旧関町		全体	
	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%
1いつも負担を感じている	36	15.4	19	29.6	55	18.5
2時々負担を感じている	63	27.0	20	31.2	83	27.9
3たまに負担を感じている	42	18.0	16	25.0	58	19.5
4負担を感じない	76	32.6	8	12.5	84	28.2
0回答無し	16	7.0	1	1.7	17	5.9
計	233	100.0	64	100.0	297	100.0

4. 問3で負担を感じている（1から3）と答えた人にお聞きします。負担を感じる理由を選んでください。（いくつでも）

① 男女別	男	女	計
	1パソコンの使い方	21	12
2事務処理の仕方	18	18	36
3職場の雰囲気	6	11	17
4仕事の質	26	13	39
5仕事の量	35	17	52
6通勤が遠くなった	0	3	3
7その他	3	14	17
計	109	88	197

② 出身別	旧亀山市	旧関町	計
	1パソコンの使い方	11	21
2事務処理の仕方	20	16	36
3職場の雰囲気	14	3	17
4仕事の質	32	7	39
5仕事の量	48	4	52
6通勤が遠くなった	1	2	3
7その他	15	2	17
計	141	55	196

事務量や事務の進め方に対する負担を見ても、仕事量が多くなったことを理由とする人が多く見られる。また、旧市町で見ると、旧亀山市の職員は合併により職域が広がったことから、「仕事の量」が多くなったことを理由にする人が多い反面、旧関町の職員は「財務の進め方」や「庁内LAN」などが旧亀山市の例により引き継がれていることから、「パソコンの使い方」や「事務処理の仕方」に負担を感じる職員が多くいることを見ることができる。

5. 問3で負担を感じている（1から3）と答えた人にお聞きします。負担を感じていることを相談する人はいますか。（いくつでも）

① 男女別			
	男	女	計
1友達に相談している	37	53	90
2専門家に相談している	5	0	5
3家族に相談している	10	8	18
4電話相談を利用している	0	0	0
5相談する人がいない	23	10	33
6その他	34	17	51
計	109	88	197

② 出身別			
	旧亀山市	旧関町	計
1友達に相談している	63	26	89
2専門家に相談している	4	1	5
3家族に相談している	11	7	18
4電話相談を利用している	0	0	0
5相談する人がいない	25	8	33
6その他	38	13	51
計	141	55	196

負担を感じている人を対象に相談する相手について見てみると、「友達に相談している」と答えた職員が圧倒的に多い中、「相談する相手がない」と答える職員も多くいることは問題視する点である。その内訳を見ると、男性の占める割合が高い。

6. 問3で負担を感じている（1から3）と答えた人にお聞きします。現在体調がおかしいところがありますか。（いくつでも）

① 男女別			
	男	女	計
1夜なかなか眠れない	14	19	33
2朝なかなか布団から出られない	11	8	19
3食欲がない	1	1	2
4体重が減った	4	7	11
5酒量が多くなった	12	0	12
6無口になった	4	0	4
7怒りっぽくなった	4	9	13
8不安感でいっぱいである	16	8	24
9仕事をやめたいと思う	0	3	3
10その他	43	33	76
計	109	88	197

② 出身別			
	旧亀山市	旧関町	計
1夜なかなか眠れない	23	10	33
2朝なかなか布団から出られない	13	6	19
3食欲がない	2	3	5
4体重が減った	3	4	7
5酒量が多くなった	10	2	12
6無口になった	4	0	4
7怒りっぽくなった	12	1	13
8不安感でいっぱいである	16	8	24
9仕事をやめたいと思う	3	0	3
10その他	55	21	76
計	141	55	196

負担を感じている職員について、体調について見てみると全体的に「夜なかなか眠れない」と答える職員が最も多く、また男性職員においては「酒量が多くなった」と答える職員も多く、酒（アルコール）でごまかそうとしているように見える。女性職員についても、「夜なかなか眠れない」の他に「怒りっぽくなった」と答える職員も多く、仕事の負担が家庭や日常生活においても影響が出ている。

出身別に見ても、それぞれの項目に占める割合は、全体と比較しても変化は見られないが、旧亀山市の職員において「酒量が多くなった」「怒りっぽくなった」「仕事をやめたい」と回答している割合が多いことが目立つ。

7. 合併してよかった点を選んでください。(いくつでも)

① 男女別	男		女		全体	
	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%
	1専門性を身に付けることができた	14	9.0	5	3.4	19
2仕事の質がアップした	9	5.8	9	6.2	18	6.0
3住民との距離が短くなった	7	4.5	4	2.7	11	3.6
4行政効果が上がった	10	6.4	5	3.4	15	5.0
5仕事の量が少なくなった	3	1.9	1	0.6	4	1.3
6人間関係がよくなった	4	2.5	11	7.5	15	5.0
7職員間で話し合いができるようになった	16	10.3	16	11.0	32	10.7
8その他	91	59.6	94	65.2	185	62.1
計	154	100.0	145	100.0	299	100.0

② 出身別	旧亀山市		旧関町		全体	
	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%
	1専門性を身に付けることができた	4	1.7	15	23.4	19
2仕事の質がアップした	10	4.2	8	12.5	18	6.0
3住民との距離が短くなった	8	3.4	3	4.6	11	3.7
4行政効果が上がった	14	6.0	1	1.5	15	5.0
5仕事の量が少なくなった	3	1.2	1	1.5	4	1.3
6人間関係がよくなった	13	5.5	2	3.1	15	5.0
7職員間で話し合いができるようになった	26	11.1	6	9.3	32	10.7
8その他	155	66.9	28	44.1	183	62.0
計	233	100.0	64	100.0	297	100.0

合併してよかった点については、全体を見てみると目立った回答はないが、その他と回答した職員が62.1%を占めることは注目すべき点であろう。(回答すべき項目がなかったのかよかった点がなかったのか)

出身別に見てみると、旧関町の職員において「専門性を身に付けることが出来た」と回答した職員が23.4%と多く、これまでの小さな自治体では広く浅く職務を行ってきたが、自治体が大きくなると同じ仕事でも分散化でき、より専門的に狭く深くといったその職務に携わることが出来る結果であると考えられる。

8. 合併して悪くなったことを選んでください。(いくつでも)

① 男女別	男		女		全体	
	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%
	1専門性を身に付けることができない	3	1.9	4	2.7	7
2仕事の質が低下した	18	11.6	7	4.8	25	8.3
3住民との距離が広がった	24	15.5	11	7.5	35	11.7
4行政効果が下がった	8	5.1	6	4.1	14	4.6
5仕事の量が多くなった	46	29.8	34	23.4	80	26.7
6人間関係が悪くなった	1	0.6	2	1.3	3	1.0
7職員間で話し合いができなくなった	2	1.2	2	1.3	4	1.3
8その他	52	34.3	79	54.9	131	44.1
計	154	100.0	145	100.0	299	100.0

② 出身別	旧亀山市		旧関町		全体	
	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%
	1専門性を身に付けることができない	5	2.1	2	3.1	7
2仕事の質が低下した	22	9.4	3	4.6	25	8.4
3住民との距離が広がった	17	7.2	18	28.1	35	11.7
4行政効果が下がった	13	5.5	1	1.5	14	4.7
5仕事の量が多くなった	65	27.8	15	23.4	80	26.9
6人間関係が悪くなった	2	0.8	1	1.5	3	1.0
7職員間で話し合いができなくなった	4	1.7	0	0.0	4	1.3
8その他	105	45.5	24	37.8	129	43.7
計	233	100.0	64	100.0	297	100.0

合併して悪くなった点について全体で見ると、「仕事の量が多くなった」と回答した職員が26.7%で最も多い。

出身別に見てみると、旧関町においては「住民との距離が遠くなった」と回答する職員が多い。旧関町だけにかかわらず、小さな町においてはいかに住民と密接した仕事が行われていたということを見ることが出来る。

また、合併して悪くなった点についての質問でも同じであるが、「その他」と答えた職員が43.7%と高い割合を占めている点は更に分析を深める必要がある。

9. どのようなメンタル対策が必要だと思いますか。(いくつでも)

① 男女別						
	男		女		全体	
	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%
1 専門医の紹介	14	9.0	18	12.4	32	10.7
2 職場の異動	36	23.3	30	20.6	66	22.0
3 仕事の軽減	36	23.3	22	15.1	58	19.3
4 降格制度の導入	19	12.3	24	16.5	43	14.3
5 気軽に相談できる機会	27	17.5	27	18.6	54	18.0
6 職場環境の改善	8	5.1	4	2.7	12	4.0
7 その他	14	9.5	20	14.1	34	11.7
計	154	100.0	145	100.0	299	100.0

② 出身別						
	旧亀山市		旧関町		全体	
	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%
1 専門医の紹介	26	11.1	6	9.3	32	10.7
2 職場の異動	53	22.7	13	20.3	66	22.2
3 仕事の軽減	51	21.8	7	10.9	58	19.5
4 降格制度の導入	30	12.8	13	20.3	43	14.4
5 気軽に相談できる機会	41	17.5	13	20.3	54	18.1
6 職場環境の改善	9	3.8	3	4.6	12	4.0
7 その他	23	10.3	9	14.3	32	11.1
計	233	100.0	64	100.0	297	100.0

メンタルヘルスの対策としては、これまでの分析結果からも合併により「仕事の量が増えた」ことをデメリットとして捉えている職員が多かったことから、「職場の異動」「仕事の軽減」をその対策として回答する職員が多い。

出身別に見てみると、旧亀山市の職員は全体的に捉えた場合と変わりはないが、旧関町の職員にとっては「降格制度の導入」や「気軽に相談できる機会」の提供など合併に伴うメンタルヘルス対策を望むものと推察できる。

10. 現在のメンタルヘルス相談をご存知ですか。(いくつでも)

① 男女別						
	男		女		全体	
	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%
1 自治労のメンタルヘルス電話相談	12	7.7	10	6.8	22	7.3
2 産業医の相談	59	38.3	47	32.4	106	35.4
3 市町村共済のメンタル相談	6	3.8	6	4.1	12	4.0
4 その他	77	50.2	82	56.7	159	53.3
計	154	100.0	145	100.0	299	100.0

② 出身別						
	旧亀山市		旧関町		全体	
	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%
1 自治労のメンタルヘルス電話相談	17	7.2	5	7.8	22	7.4
2 産業医の相談	95	40.7	10	15.6	105	35.3
3 市町村共済のメンタル相談	9	3.8	3	4.6	12	4.0
4 その他	112	48.3	46	72.0	158	53.3
計	233	100.0	64	100.0	297	100.0

メンタルヘルスの相談場所については、市が行っている「産業医の相談」については知っている職員も多いが、自治労や共済組合で実施している「メンタル相談」についてはあまり知られていないことから、今後職員への周知も必要である。

また、「その他」と回答した職員が53.3%と半数以上を占めており、相談場所をあること自体知らない職員がいるということも認識する必要がある。